

令和5年度 第2回社会教育委員会会議録

日 時 令和5年11月8日（水）10時00分から11時55分

場 所 市役所5階小会議室

委 員 委 員 長		松尾 弥生
副委員長		高瀬 由美
委 員		田中 亨胤
委 員		谷勝 公代
委 員		河合 新一
委 員		村上 尚美
委 員		中村 和子
委 員		菅野 裕之
委 員		植田 正吾
事務局 教 育 長		菅野 恭介
生涯学習課 課長		北島 悦乃
生涯学習課 課長補佐		高見 和哉
生涯学習課 職員		藤井 優佳

1. 開会（事務局）

2. 教育長あいさつ（教育長）

おはようございます。本日はご多用の中、社会教育委員の会議にご出席いただき、ありがとうございます。

社会教育は本当に多岐にわたっておりますので、加西市の発展のために、ぜひいろいろとご意見をいただければと思っております。

最初に1つお詫びを申し上げておきたいことがあります。先日、区長さんを通じて社会教育推進員に関するアンケートを配らせていただきました。そのアンケートの文面が「社会教育推進員の制度を廃止することについてどう思われますか」というように、制度の廃止を前提としたような文章になっておりました。そのため、区長様方や社会教育推進員の方から「どうなっているのか」という声をいただきました。さらに社会教育委員の方々におかれましては、それぞれ問い合わせや厳しい声を受けることになってしまい、本当に申し訳なかったと思っております。元々は、社会教育推進員の実態を聞いてみようということだったのですが、制度をなくそうとしていると思われても仕方がない内容だったので、非常に反省をしているところです。

アンケートの内容については後ほど説明がありますが、社会教育推進員の役割は非常に多岐にわたっておりますし、町によっても役割が異なっております。ただ、各町でそれぞれ役割をしっかりと推進していただいておりますので、今後、更にもどのようなことを行っていくかを建設的に考えていけたらと思っております。

また、教育委員会としても社会教育推進員の制度がある以上、研修等の機会を設ける必要があると思っております。私自身も、社会教育推進員を長く務めていたのですが、研修を受けて初めて活動内容がわかったということがありましたので、やはり研修はしっかり行い、教育委員会としてサポートできる体制を作っていかなければいけないと思っております。

とにかく、時代は変化していきます。新型コロナウイルスの流行もあり、社会の形も大きく変わってきています。昔のように運動会でみんなが集まることなどは難しくなってきましたが、逆に新しい発想で新しいコミュニティを作っていく必要があると思っております。是非いろいろご意見をいただければと思っております。

今日はこれ以外にも多くの議題があります。「こんなことをしたらどうか」「こんなアイデアがあるよ」といろいろな意見を出していただき、みんながより幸せに生きていける社会を作っていくためにご協力をいただければと思います。

3. 社会教育委員長あいさつ（委員長）

皆さん、おはようございます。この度、委員長になりました。よろしくお願いたします。

先輩方がずっと続けてこられた社会教育の推進ですが、地域においては、やはり人づくり・まちづくり・地域づくりに尽きるのではないかと思います。そのためには、先ほどお話がありました社会教育推進員の方々など地域の皆さんが根本です。私たちは、その方たちとともにどうしたら社会教育を通じて豊かな人づくり・地域づくり・まちづくりに進んでいけるのかをこの場で検討、提言をしていきたいと思っております。

コロナ禍で地域は低迷して、事業が途切れてしまいました。今、地域の方々はそのを今度どうやって復活させるのか、非常に悩んでらっしゃいます。その中で、私たちがこうしたらいいと言うのは難しいですが、社会教育推進員の研修会など協力できるところは協力させていただいて、これからの地域の繋がりづくりに貢献していけたらいいなと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

4. 社会教育委員紹介（事務局）

～事務局より委員紹介～

5. 報告事項

（1）生涯学習相談について

～事務局より説明～

○副委員長

先ほどの説明のとおり、生涯学習相談には、「今はここまで進んでいます。次はどうしましょう」というように毎月継続的に相談をしてくださっている方がいらっ

しゃいます。それと同時に「どんな活動が私に合っているでしょうか」「こんなことやってみたいのですが、ありますか」という相談もあります。お話をする中で、その方が本当に求めていることを聞き取り、それに合った対応させていただいている現状です。相談時間は30分で区切らせていただいておりますが、他に予約がなければ時間を延ばしてご相談に乗らせていただいております。

昨年度は、グループの立ち上げのご相談などがあったのですが、今年度は公民館主催講座から登録グループになりたいというご相談なども出てきています。そういう活動に前向きなご相談が増えるといいなと思っておりますので、タイミングを見て、いろいろPRをさせていただきたいと思っております。

○委員 E

アスティアかさいは、複合センターで男女共同参画センターや図書館があり、大店舗が併設されているので、すごく良い環境だと思います。私もアスティアかさいが出来た当初はすごく注目していました。

残念なのは、そこでどんなグループが登録されているのか全く見えないことです。これから男女共同参画センターを強化すると、男性のグループも出てくると思います。アスティアかさいのグループの人たちが一堂に会する機会はあるのでしょうか。

また、各公民館にも登録グループがありますが、そことのネットワークはあるのでしょうか。

○副委員長

アスティアかさいと公民館のグループの繋がりはおそらくないと思うのですが、アスティアかさいに登録されているグループの集まりは年に1回程あると思います。また、公民館のグループは各公民館で集まる機会がそれぞれにあります。

○委員 E

もっと包括的になってもいいのではないのでしょうか。おそらくどんなグループがあるのかが見えていないと思います。

自分たちで活動を立ち上げるとなると非常に大変ですが、「私、こんな活動したいのだけれど、あのグループに入れてもらえないだろうか」というような相談があってもいいのではないかと思うのですが、そのような相談はありますか。

○副委員長

「もうすぐ退職で、何か趣味持っておきたいのですが、どんな活動に参加できますか」というような相談は1人か2人ありました。

○委員 E

相談自体が見える化されていないのは、そのグループがネットワークを持っていないということだと思っております。

○副委員長

公民館に登録されている方は「公民館の誘い」という公民館の活動内容が載っている冊子を見ているし、各公民館で何をされているかを大体ご存知だと思います。

ただ、活動をされてない方は、どこに行ったらそういうことがわかるのと思っていらっしやるのは間違いないと思います。公民館の誘いは各戸にも配布されていますが、おばあちゃんは見えても若い嫁さんは見えてないというお家が多いのではないかと思います。

○委員 E

お父さんも見てないこともあるのではないかと思います。子どもから高齢者までのグループがあるのが一番望ましいですし、女性が活動しているところもあってほしいです。なかなかグループは育ちにくいですが、ぜひそういうネットワークを構築していただきたいです。

○委員長

アスティアかさいがオープンした時に市民活動センターを立ち上げまして、市民活動グループの集まりを作ったのです。男女共同参画センターだけではなく、市民活動センターもあるので、登録グループを集めて研修会を開催していました。ですが、徐々に研修会がなくなり途切れてしまった時期があり、そのままになってしまったのです。

公民館登録グループが市民活動グループに入っている場合もありますし、市民活動グループが公民館登録グループに入っている場合もありますが、結局メインとする活動場所は決まっていて、なかなかそこが交わることがないのですね。今はないですが、そういった機会も必要だと思います。

○生涯学習課長補佐

生涯学習相談事業については、基本計画の短期的戦略の「公民館に学習よろず相談窓口を開設」に繋がると考えております。次年度以降は、公民館でも生涯学習相談を開催し、将来的には公民館職員が対応できるようにしたいと考えております。

（２）公民館職員研修について

～事務局から説明～

○委員長

昨年、公民館・オークタウン加西のあり方検討委員会に元委員長、元副委員長が出席していただいて、今後の公民館について検討を重ねていただきました。私たちも答申としてまとめ上げられたものを拝見しましたが、そこにたびたび出てくるのが「コーディネーター」の存在です。公民館をこれから運営していくにあたり、コーディネーターの存在がすごく大きいということが書いてありました。結局は、公民館の職員や館長がコーディネーターになっていかないといけないですが、今それができるのかという話になると、なかなか業務的にも難しいところがあります。ですので、この度の研修会では、公民館の職員の役割、コーディネーターになるために必要なこと、職場環境を良くするためのコミュニケーション、それから講座やチラシづくりなど実務的なところを目的として開きました。

教育委員会の方で配慮いただきまして、オンライン参加の方がいるときもありましたが、すべての方に受けていただきました。公民館同士の情報交換の場にもなりましたし、公民館の職員や館長がこれから頑張っていこうという気持ちになっていただけたことが一番大きかったです。

ただ、そのあとの業務という話になったとき、それぞれの公民館で独自のルールが存在しているので、そこをそろえて業務がしやすくなればいいなと感じました。

○生涯学習課長補佐

先ほど委員長からも言われましたように、今回の研修は「各公民館に専門性の高

い職員、公民館コーディネーターを配置・育成」というところに繋がると考えております。実際のところ、資格を有するまでは難しいですが、次年度以降も研修を継続して行い、職員の育成をしていきたいと考えております。

○委員 C

職員に対する研修を行われたのは初めてでしょうか。

○生涯学習課長補佐

そうですね。全員集まるのがなかなか難しく、実現が出来ておりませんでした。

○委員 C

私も 20 年近く公民館に関わっていますが、本当に良くなっています。南部公民館しか見てないのですが、公民館に行きやすくなりましたし、雰囲気も良くなったと思います。こういう研修を続けていってあげてほしいですね。

○委員 E

私はそれと同時に職員も悩みを持っていると思います。それを出し合う場、共有する場があればより良いのではないかと思います。

○生涯学習課長補佐

今年度は公民館の事務職員だけを集めて自由に話していただく機会を作りました。悩みや情報を共有する良い機会になりましたので、今後も続けていければいいなと思っています。

○委員 E

それはそれでいいのですが、その内容を事務局で取りまとめて結果に繋げていけないといけないと思います。

○生涯学習課長

今回は、公民館職員から事務担当職員が集まる機会がほしいという声があり、また、加えて同じ館に配属された人の顔しか知らないという現状もありましたので、このような場を設けました。

委員 E がおっしゃった通り、そこで出た話は館の運営上必要なことは、館長たちと共有しないといけないこともあります。それについては、館長に話をしております。

これまでも月に 1 回、公民館職員連絡会という会議があつたのですが、これは館長のみでの参加でした。それを今年度から、オンラインですが事務職員にも参加してもらうように変えました。館長だけでは、事務的なことを伝達しても事務職員までしっかり伝わらないという悩みを抱えておりましたので、それを解消するという意味もあり、同時に参加してもらう形をとりました。これをきっかけに職員同士で話し合いができる環境を築くことができればいいなと思っています。

○委員 A

研修もインフォーマルな研修からフォーマルな研修までいろいろあると思います。インフォーマルなものはどこまで情報を公表していくかが難しいところですが、おそらく動画は撮っていらっしゃると思うので、参加できなかった方もいたら、動画を必ず共有していただきたいです。

○生涯学習課長

今回、動画は撮れていないのですが、オンラインを使って皆さんに参加していた

いただきました。

○委員 A

コーディネーターにもいろいろな水準があると思いますが、人望の厚い人がコーディネーターになるのが一番です。役職で決められると空回りしますので、最終的には、地域からの人望と力がある方がなることができればいいですね。

また、県に「加西市はなんたって公民館」というキャッチコピーを発表させていただいたことがあります。それぞれの公民館の特色をきちんとお伝えして、その複合体としての加西市の公民館というのが一つの戦略だと思います。やはり、加西市のような規模の市では、公民館を大切にしないといけないと思います。

○委員 C

公民館職員の方も本当に大変だと思います。なので、議員の方に一度公民館に行って職員の話聞いてきてほしいと伝えました。また行ってくださるのではないかと思います。

○委員 A

ふらっと公民館に立ち寄って雰囲気を見てほしいですね。

狭いエリアの囲い込みではなく、地域全体に開いていくこと、どこのエリアの人かは関係なく公民館にふらっと立ち寄れるオープンマインドが大切かなと思います。

○委員 G

感想ですが、社会教育委員になり、改めて公民館の活動を見ているのですが、活動が変わってきたな、前向きに情報発信されているなど感じます。

基本的には4つの中学校の横に公民館があり、中学生たちもいろいろな活動に参加させてもらっています。善防公民館におかれては、特別支援学校の生徒たちも関わらせてもらっており、すべての学校を巻き込んでいく形で活動をされているので、本当にありがたいなと思っています。それがこれまでずっと続いているので、最初の思いが形骸化しないように、最初に参加してほしいと言われたその思いを受け継ぎながら、これからも活躍してほしいと願っています。

○委員 A

今の委員 G の言葉はとても嬉しいですね。学校教育に対して、校長先生などの管理職には、絶対に社会教育がわかっている人が就いていただきたいと思っています。そうでないと学校・地域・家庭の連携ができませんから。

○委員長

私は、公民館まつりで何ヶ所か公民館を回らせていただきましたが、販売などを手伝っている学生さんにたくさん出会いました。よくあるパターンを考えると、中学生だけのブースを作ってしまうですが、団体・グループと一緒に参加されました。

また、善防公民館においては、今年は参加者集めに苦労されていまして、マツケンサンバを中学生と一緒に踊って、お父さんお母さんに来てもらうことをしていました。すごく協力してくださったようです。

○委員 F

小学校は隣に公民館がなく、私が勤務している宇仁小学校も公民館が少し遠いのですよね。公民館まつりに一緒に参加してほしいということお聞きしていたのです

が、なかなかできていませんでした。

ただ、昨年、北部公民館まつりに参加させていただいた時に、私が以前に泉中学校に勤めていたときよりも多くの中学校の生徒さんが関わられていました。やはり、子どもたちの目が自分の地域だけではなく、より広い地域に向いていくと思います。

いろいろとご助言いただきながら、小学校も協力できたらと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

(3) 社会教育推進員について

～事務局から説明～

○教育長

最初の挨拶で申し上げましたように、社会教育推進員について、市として研修がなかったことは非常に大きいと思っています。この7月から教育長を拝命しているのですが、それまでは区長を務めていました。地区代表区長もしていたのですが、制度のことが分からないのですよね。社会教育推進員に何を求められているのか言えないこともありましたので、しっかりと研修を行っていきたいと思います。

今までの役割はもちろんありますが、社会が変化する中でもっとこういうことが必要ではないか、選出が大変だという町にこういう対応されたらどうかなど、そんなご意見がいただければありがたいなと思っています。

○委員 E

意見の中に「市の政策として女性役員の登用推進の話があり、社会教育推進員は女性役員とすると決めてしまう」とあるのですが、私も女性がなればいいのではないかと思います。女性になると何が変わるかっていうと、まず視点が変わります。それと、平日の夜には女性は参加できないことが多いですから開催時間を変えるのではないかなと思います。

○委員長

そうですね。女性の役員が増えていただかないと地域に声が届きませんね。また、このアンケートにも「次世代のリーダーや若手との橋渡し役としての役割」ということが出ていますので、比較的若い方が推進員になられることが多いと思います。役員になれば、地域のことを真剣に考える必要が出てきます。私たちは社会教育推進員の役割を提示して、あとは各町で適宜変えていただけたらいいと思いますので、そういう研修会が開けたらいいなと思います。

来られた方に意識がなければ研修会に出席しても寝てしまうと思います。ですので、参加型の研修にする必要があるのかなと思っています。研修を受けたらお金がもらえるという話があったらいいのですが、そもそも校区の方にお金がいってしまったのですよね。社会教育推進員さんは村ごとなので、本来は各村々にあるべきではないのかと思うのですが。

○委員 D

私の住んでいる町は20軒ぐらいしかないのですが、主人が区長をされていて、このアンケートが来た時にどうやって答えようかと困っていたのを覚えています。問題もあったのかもしれないですけど、これだけ社会教育推進員という存在が注目されたのはよかったのではないかと思います。

私の村を例に挙げると、社会教育推進員の方は今2期目に入られていて、推進員になられた当初は40代ぐらいのお父さんでした。やる気いっぱい、コロナでなかなか人が集まらない状況のなか、工夫して人を集めてくれたのです。問題は家に引きこもっているお年寄りが多いことと子どもが外で遊ばないことでしたが、そこを工夫してくださって、活発に活動してくださいました。

私や婦人会の女性が入って何を目標にするのかという話になった時に、やはりお年寄りは子どもの元気な笑顔や話し声、走り回る姿を見てエネルギーをもらうという話をしました。そこで、お年寄りに子どもたちの映画を見せることをひとつ目標にしました。

活性化してきたところに、このアンケートが届いたので少しびっくりしたのですが、加西は村の組織の力がすごく強いと思いますし、社会教育の砦だとも思います。目標をしっかり決めて、女性の起用も変化をもたらすと思いますので、大変だと思いますが、ぜひ続けていってほしいです。活性化してもらえたら、私たちみたいな小さい村はありがたいなと思います。

もう1点、公民館の活動グループに、障害者の親のグループなどがもう少し垣根が低く参加できるようになったらいいなと思います。障害のある子を抱えたお母さんの悩みは大きいと思いますので、そういう窓口を少しでも増やしてもらえたらいいのかなと思います。公民館が心も体も元気な人ばかりではなく、広く集まれる場所になればより良くなるのではないかと思います。

○委員長

公民館は、いろいろな方に集まっていたことも大事ですし、加西市にとって社会教育推進員さんが最後の砦だとおっしゃってくださったことも本当にそうだと思います。

結局は地域をつなぐ人ということになりますので、そこを理解していただいて、研修会が開けたらいいなと思います。社会教育委員で、何か実質的に動くということがなく、いつも会議だけで終わってしまうのですが、研修会をするという話になったときに何らか関わらせていただくことがあってもいいのかなと思いました。

○副委員長

最初、私が社会教育委員という名前をいただいた時に、社会教育って何？というところから始まって、社会教育委員と社会教育推進員とは何が違うのというところから入りました。

うちも17軒ほどの小さな村なので、各戸1人は何かしらの役が当たっている状況です。私も役員になっていろいろと発言しているのですが、よく意見を聞いてもらっています。ふるさと創造会議もまだまだ女性は少ないですし、社会教育推進員も女性が少ないのではないかと思います。こういう人がもっとたくさんいたら加西市の空気も変わるのではないかと思います。

また、公民館の研修会で初めて顔を合わせてお話をされたということがあったように、社会教育推進員にもそういう情報交換ができる時間があっても面白いなと思います。

○委員B

加西に住んで思うことは、各町の貧富の差が大きいのですよね。役職もあります

が、ご本人が承知なさっているとは限りません。ご存知ない場合も往々にしてあります。だから、どんな活動をするのかもご存知ではないです。この度、この社会教育推進員について改めて示されたのは本当に大事なことだと思っております。

各町でいろいろ考えてなさっているかと思いますが、私の夫が推進員をしていた時はレクレーションや人権をテーマにやっておりました。

市の方針かどうかわかりませんが、隣の町との繋がりを必要以上に求めない時がありました。婦人会も隣の町と繋がらなくていいと通達が出たこともあるぐらいです。とにかく町の中の組織だけを大事にしてくださいということでした。それでは、町の区長は女性のことをどういうやって繋げていくのか、繋げたらいけないとはどういうことだと問題にはなりました。

また、民生委員、児童委員、福祉委員を重複しているところは加西市だけです。いろいろな手当もまとめて各町や各校区に入っているのも加西市だけです。それは私たちが役員の際に、せっかく動いていただく方に直接振り込まないでどうするのと言って、各個人に振り込んでいただくように変えました。

社会教育推進員はどんなことをしてらっしゃるのか各区長さんにお聞きしましたら、「いろいろなイベントの時の駐車係や誘導係をしている」とおっしゃるところがあり、それも安全の面で大切な役割ですよとお話しました。

今から本当に苦難の道だと思います。その中で大事なことは、市がもう少し積極的にあるべき姿を出していただくことだと思います。私たちは、社会教育委員ですと言っても、「しゃきょう」と聞いたら男性は社会福祉協議会の方を思い浮かべます。そこら辺も考えていけないといけないと思います。

○委員 A

今、社会教育推進員について調べていますけど、文科省や兵庫県、全国いろいろな市町で試行錯誤的にやっていますので、情報を少し整理してほしいです。町もお互いに他のところの手の内を感じながら、私たちの集落はどうしようかと考えていくことができればいいなと思います。

また、社会教育委員と社会教育推進員の違いというお話が少しありましたが、社会教育委員は、市からお金を取ってくるくらい厚かましい発言力も大事だろうと思っています。

○委員 B

昨年度の公民館・オークタウン加西のあり方検討委員会ですが、最後の段階に入ってきたとき、どことは言いませんが「そこまでは意見を求めている」というお言葉が出始めました。頭が揺らぐというのは決してあってはならないです。それだけはお伝えしておきます。

○委員長

本日はたくさんのご意見をありがとうございました。社会教育推進員を残してほしいという意見がたくさんあったり、委員 D のお話をお聞きしたり、脈々と村に続いているこの役割をこなしてくだっている方がいての今の加西市なのだとよくわかりました。

良い研修会になるようにご協力をさせていただきたいと思っていますのでよろしくお願いします。また、予算もご検討いただけたらと思いますので、よろしくお願

いします。

○生涯学習課長

たくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。社会教育推進員の研修につきましても、社会教育委員の皆様のお力もお借りしながら行ってきたいと思しますので、どうぞよろしく願いいたします。

6. その他連絡事項

(1) 各委員からの報告

～委員からの報告は特になし～

(2) 事務局からの報告

～事務局より連絡事項～

○委員 E

公民館講座プレゼン会議について、令和6年度の方針が4つ出ていますよね。方針には、STEAM教育というのが全面的に出ていますが、来年度の特徴的な公民館講座を見たとき、全然方針に沿ってないですよ。そもそも、STEAM教育は青少年を対象にしないとイケないと思いますよ。

また、PDCAに乗せられるか乗せられないかというのはすごく大事だと思います。これだったらPDCAに乗らないです。

○生涯学習課長

おっしゃる通りで、方針に沿っていない旨はプレゼン会議の中でも指摘させていただきました。

またお気づきの点がございましたら、生涯学習課まで言っていただければと思います。

7. 閉会（副委員長）

皆様、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

公民館と学校が繋がることに対して、先生方から温かいご意見をいただけたことがすごくうれしいなと思っています。やはり公民館まつりに子どもたちの笑顔があること、公民館に子どもたちの顔が見えることは、まちを元気にしていくことだと思います。ぜひ、いろいろなところでそういう声を皆さんの方でも挙げていただき、繋げる役目をしていただけたらと思います。

今後とも皆様のご協力をよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。